

報告事項3

「第6回神戸マラソン」ランナーエントリー状況等について

「第6回神戸マラソン」ランナーエントリー状況等について、別紙のとおり報告する。

平成28年7月12日提出

神戸市教育委員会

教育長 雪村新之助

## 第6回神戸マラソンの応募状況等について

### 1 ランナー応募総数 75,097人(昨年度78,019人)

〔内訳〕

※ ( ) 内は昨年度実績

種目	定員	応募総数 a	倍率	区分	人数	細区分	人数 b	組数	構成比 b/a	出走予定 人数
マラソン	20,000 (18,000)	75,097 (78,019)	3.8 (4.3)	個人	63,245		63,245		84.2%	16,844
				グループ		2人	8,024	4,012	10.7%	2,137
						3人	3,828	1,276	5.1%	1,019

〔主な特別枠の応募数〕「シード枠」 319人/対象 427人  
 「キラキラ女子ランナー枠」 3,583人/定員 500人  
 「年代別チャレンジ枠」 4,381人/定員 2,000人  
 (4,778人/定員 2,000人)  
 「神戸マラソン初出場枠」 30,268人/定員 2,000人  
 (36,407人/定員 2,000人)

### 2 日程

6月30日 抽選結果を応募者にEメールで通知  
 7月25日 当選者参加料入金締切  
 8月上旬 追加抽選の実施(参加料の入金状況により実施しない場合あり)  
 8月下旬 追加抽選結果の通知  
 9月上旬 追加当選者参加料入金締切(～9月中旬、参加者の確定)  
 10月中旬 参加案内の通知(大会ホームページに掲載)  
 11月18・19日 参加受付(神戸国際展示場)  
 11月20日 第6回神戸マラソン

### 3 ボランティア応募状況

- (1) 募集人数：7,500人(団体、個人の合計)
- (2) 募集期間：団体4月22日～、個人5月16日～(いずれも先着順)
- (3) 応募状況：7,482人(6月24日現在)
  - 内訳(団体) 182団体 6,889人
  - (個人) 593人

## 第6回神戸マラソンの開催準備状況について

### I 第6回大会の重点項目

#### 1 マラソンランナー2万人に対応した安全・安心な大会運営の充実

##### 新規 (1) ウェーブスタートの導入

「道幅が狭い」というランナーからの声がある中、スタート付近やコース沿道の混雑緩和を図り、定員2万人に対して、より効率的な運営を行うため、時間差スタートを実施する。

##### (2) ランナーサービスの充実

- ・距離表示板を見やすく、分かりやすいように大型化する。
- ・ランナー数増加に対応し、コース後半に洋式仮設トイレを追加する。
- ・過去大会の給水・給食実績から、ランナー数増加に対応する効果的な配置と数量を準備する。

##### (3) マナーアップの啓発

ウェーブスタートについての留意事項・競技上のマナー等を、大会ホームページやEXPO等で積極的に啓発し、大会の質の向上を図る。

##### (4) 救護・警備体制の充実

###### ① 重症事案への対応

競技中に発生する重症事案に迅速に対応するため、競技役員、ボランティア、救護スタッフの役割分担の確認、相互連携を強化し、救護体制の更なる充実を図る。

###### ② 緊急時対応訓練

緊急時対応マニュアルを基に、災害や大事故、テロなどの発生、重症事案への対応を想定した初動体制の訓練を9月に行い、大会関係者へ対応フローの周知徹底を図り、危機管理意識を高める。

#### 2 コンセプトの具現化

##### (1) チャレンジマインド [ランナーが自ら挑戦し続けるための取り組み]

###### 新規 ① シード枠

途切れることのないレース展開のため

###### 新規 ② キラキラ女子ランナー枠

女性の参加率向上のため

###### ③ 年代別チャレンジ枠

日頃トレーニングを積んでいるランナーのモチベーションを高めるため

###### ④ 神戸マラソン初出場枠

より多くのランナーに神戸マラソンを体験していただくため

新規

⑤ 連続入賞者表彰制度

大会参加へのモチベーション向上を図るため、当制度を大会前に周知

⑥ ウェーブスタート（再掲）

(2) ホスピタリティマインド [大会の魅力化・ブランド化の促進]

神戸マラソン実行委員会構成団体、スポンサー等が実施するイベントとタイアップしたPRの実施により、大会当日に向け、一層の機運醸成を図る。

また、スポーツツーリズムの観点からも、神戸マラソンの個性化を図り魅力あるものにするため、兵庫・神戸の街の特性(ジャズ・スイーツ・グルメ・ファッションほか)を活かしたプログラムを継続して実施し、大会のブランド化に努める。

さらに、県・市の関係部局、国際・観光関係団体とも連携し、国内外に住む外国人へのPRにも努め、大会への参加を促進し、インターナショナルな大会を目指す。

新規

① 「神戸マラソン・シリーズイベント」の認定

多様なランナーニーズに配慮し、神戸マラソンの1週間前に開催されるランニングイベント「六甲シティマラソン」との協力関係を構築するとともに、兵庫県内で実施される神戸マラソンのPR、開催機運の盛り上げに寄与する事業を公募し、内容審査の上、「神戸マラソン・シリーズイベント」として認定することで、当該事業とタイアップした大会PRを実施する。

- ・ イベント主体：神戸マラソン主催者、実行委員会構成団体、スポンサー等
- ・ 対象期間：10月1日から11月20日（大会当日）まで
- ・ 内容：認定イベント事業名称への「神戸マラソン・シリーズイベント」呼称の付記（イベント告知印刷物、看板類等）と、特典としての神戸マラソン大会ホームページ等での認定事業の紹介

② ジャズイベント

ジャズ演奏による沿道応援の充実を図るとともに、「ジャズの街神戸」らしいおもてなしを行う。

③ 神戸スイーツの提供

兵庫・神戸ゆかりの洋菓子・和菓子をランナーへのおもてなしとして提供する。

④ グルメ広場

EXPOにグルメエリアを設置し、多彩なグルメブースを出展する。

⑤ おしゃれランナー賞

EXPOに「おしゃれランナーブース」を設置し、おしゃれランナー賞のエントリーを受け付け、「ファッション都市神戸」の魅力を発信する。

⑥ 絵手紙によるランナー応援

地元の小学生等による絵手紙メッセージカードをランナー全員へ贈る。

⑦ 海上からの応援

神戸市港務艇等による応援放水などで大会を盛り上げる。

⑧ 地場産業との連携

ランナー等への真珠製品、淡路瓦製品、灘五郷の清酒等の提供をはじめ、兵庫・神戸の地場産業と連携した取り組みを続ける。

⑨ 被災地交流事業

スタートセレモニーにおいて、高校生らによる合唱を行うなどして、東日本大震災被災地等との交流を図る。

(3) ボランティアマインド [震災復興の教訓と感謝を国内外に発信]

① 感謝と友情のひまわり

スタートセレモニーにおいて、ランナー「2万人で咲かせる『感謝と友情』のひまわり」と「しあわせ運べるように」の合唱を引き続き実施する。

さらに、震災復興の象徴である、ひまわりの花をイメージした黄色の手袋をボランティアや大会関係者、沿道応援者に配布するとともに、黄色の手作り応援グッズの自発的な作成をホームページ等で呼びかけ、コース沿道にもひまわりを咲かせる一体感のある取り組み「みんなで咲かせる『感謝と友情』のひまわり」を継続して実施する。

新規

② 語学ボランティアの募集

年々増加する海外からのランナーに対応するため、語学（英・中・韓）ボランティアを募集し、よりスムーズな運営を目指す。